**2016年アクティオ助成金申請書 全3枚**

申請日：　2016年　　　月　　　日

１．申請団体・個人の概要

|  |  |
| --- | --- |
| （ふりがな） | きょうどううんえいじっけんすぺーすりべるたん |
| 団体名（個人の場合は個人名） | 共同運営実験スペースりべるたん |
| 代表者 | 氏名 | 年代（例：20代） | 職業 |
| （ふりがな） |  |  |
|  |
| 分類（該当するものに○を付けて下さい） | 　　　１．ＮＰＯ法人　　２．任意団体　　３．その他の法人（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　４．個人 |
| 設立 | 年 | 月 | 日 | （注）任意団体からNPO法人になった場合、任意団体の設立年月を記入して下さい。 |
| 住所 | 〒 |
| 　　　　　　　　（都・道・府・県） |
| （TEL） | （FAX)  |
| （ホームページのURL） |
| 主担当者の連絡先（※団体） | 〒 |
| 　　　　　　　　（都・道・府・県） |
| （TEL） | （FAX)  |
| （E-mail） |
| スタッフ数（※団体） | 名 | （内訳）有給スタッフ：　　　　　　名　／　ボランティア：　　　　　　名程度 |
| 会員数（※団体） | 名 | （内訳）正会員：　　　　　　　　　名　／　その他会員：　　　　　　　　名 |
| 年間収支（※団体） | （単位は万円） | 前年度（2015年度）決算 | 今年度（2016年度）予算 |
| 経常収入 |  |  |
| 経常支出 |  |  |
| 主な収入源（※団体） | 会費（円） |  |
| 寄付（円） |  |

※上記で「～（※団体）」の項目は団体申請者のみご記入ください

受付日

２．団体の設立背景と主な活動実績（団体申請者のみ記入）

|  |  |
| --- | --- |
| 団体設立のきっかけ |  |
| 団体の活動の目的 | ・常識や生活費、日々の労働などに縛り付けられて身動きが取れなくなっているような社会の現状を変え、より豊かに生きていける場を“自分たちで”建設すること。・様々な思想・信条・趣味・個性の持ち主が、出来る限り無条件に、出来る限り金銭を介在させずに交流できる機会・場所を創出すること。・上記のような取り組みと、それによって生まれた交流を積極的に配信・支援すること以上をそれぞれ「自主生存」「異文化交流」「文化発信」という３つの理念として、その実現を目指す。 |
| 団体の主な活動実績 | 　およそ４年間にわたり、イベント開催や勉強会、居住空間としての場を提供し続けることができた。雑居ビルの一室から一軒家に移転することで新規居住者の受け入れも進み、現在は８名ほどが共同生活を営んでいる。　居住者の増加に伴い、運営者のうち学生３人が別の物件を賃貸し「学生寮」として共同生活を営んでいるが、学生側からこれをより大規模にして、より大勢の学生の受け入れ先とする方針が提起されたため、自主学生寮の建設を目指す運びになった。 |

３．プロジェクトの内容

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 | 自主学生寮建設計画 |
| 助成申請額（単位：円） | 400,000 | 総事業費（単位：円） | 440,000 |
| 前年度「アクティオ」からの助成の有無 | 　　１．助成を受けた（金額：　　　　　　　　　円）　　 　　　２．助成を受けていない |
| プロジェクトの目的・背景となるニーズ | 学費や家賃の高騰と仕送り額の低下による学生の経済状況の悪化、学生自治寮や学生会館の解体による学生自治の喪失がある現状において、学生向けのシェアハウスを「学生寮」として運営し、学生自身の手によって管理・運営される持続可能な居住・交流空間を建設する。 |
| プロジェクトの内容 | 　戸建のファミリー向け賃貸物件を借りてシェアハウスを運営し、経済的に困窮していたり、家庭的事情により下宿を希望するような学生のための低額の居住空間として提供する。またイベント開催などに使用出来るシェアスペースとしても活用する。　居住者以外にも月額の運営費を支払い、シェアスペースの運営者として運営上の意思決定や短期の宿泊、イベントの企画などに参与できる運営者制を導入する。　過渡期的な措置としてファミリー向けの小規模な物件を借りるが、運営費や共済費の積立、イベントの参加費などを利用してより多くの物件を借り、拡大を図る。 |
| 期待される効果など | 　拠点を拡大し増やしていくことで、より多くの居住環境を困窮する学生に提供できる。拠点が一箇所だけでも、フリースペースという形での開放は交流の場として一定の意味を持つ。また似たような運動が広がることで、学生による自主運営のシェアハウスが既存の学生マンションやシェアハウスのオルタナティブとして存在感を増すことが期待できる。 |

５．申請活動の実施スケジュール（助成対象期間：2016年12月20日～2017年11月19日）

|  |  |
| --- | --- |
| 年月 | 具体的な活動内容 |
| 2016年12月2017年2月2017年3月 | 居住希望者募集・設備等整理開始寮物件契約・旧物件退去、移転寮新設・活動開始 |

６．申請活動の予算書

①収入の部（単位：円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 内　　　　容 | 金額 |
| 申請助成金 | アクティオ助成金 | 40,0000 |
| 自己資金 | 寮の居住者・運営者から徴収 | 50,000 |
| 寄付金 |  | 0 |
| 他の助成金 |  | 0 |
| その他 |  | 0 |
|  | 収入合計 | 450,000 |

②支出の部（単位：円）

※活動に関する人件費（講師謝金、指導料、団体職員やアルバイトの賃金）は、助成申請額の2分の1まで。

※費用の算出根拠は可能な限り詳細に記載ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費目 | 摘要（内容、算出根拠） | 金額（円） | 助成金充当額 |
| 入居費用（敷金・礼金） | 都内ルームシェア可の物件数件から概算 | 250,000 | 250,000 |
| 転居費用 | 現在設置している学生寮備品の移転費用 | 40,000  | 40,000 |
| 大型家電 | 現在不足している備品（主に洗濯機） | 60,000 | 60,000 |
| 諸費 | その他生活環境整備 | 50,000 | 50,000 |
| 退去費用 | 現在設置している寮の退去費用 | 40,000 | 0 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  | 支出合計 | 440,000  | 400,000 |